



▲参加者の皆さんでパチリ！

松前保育所長…所長の茂川です。子育て支援センターでは、様々なサークルの他にも、「松前町いきいきサポートセンターma★ma・ほっと」のサポーターの育成や保育所の先生方の定期的な会合を開催しています。

皆さんに利用してよかったと言っていたら、たいへんうれしく思います。今日は白石町長にも出席いただいております。よいところは更に充実させ、改善すべきところは改善していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

町長…こういう機会を持たせてくださることをたいへん感謝しています。

中に入ったとたん一度に大勢の子どもたちに囲まれ、私も二人の子孫のことを思い浮かべました。

支援センターの役割としては、子育てに悩んでいる方たちにとどのようにして支援センターを利用していたらどうか、そして、その方々のお手伝いをどうするかです。一歩踏み出す最初のきっかけが難しいですが、自分が言い出す勇氣、周りの方も仲間になろうという氣持が大切です。一歩をなかなか踏み出せない方が気軽に踏み出せるよう、支援センターとしていかに支援していくか、そこが今後追い続ける課題であると思います。先ほどは皆さんからたいへんよいご感想を聞かせていただきましたが、私は現状でよいとは思っていません。まだまだ様々な問題があると思います。今日はそれを直接聞いて、今後の政策に活かしていきたいと考えています。よろしく願います。

みんなで声をかけあつて！

西岡…叶田さんは、支援センター以外でも活動を広げようとされていますが、どのようにお考えでしょうか。

叶田…NPO（民間非営利団体）の子育てネットワークの活動をしています。松山のお母さん方が自主的にサークル活動をしているのには比べ、松前町のお母さんは消極的なお母さんが多くて、自分たちで積極的に活動する部分がないように思います。ただ、松前町に自主的サークルがないのは、支援センターのサークルが充実しているからかもしれません。自分たちでサークル活動をしてみてもよいのかなと思います。

西岡…支援センターとしては、自主的サークルを立ち上げるにしても段階があると考えています。いづれは独り立ちしていつてもらえたらとは思いますが、お子さんが幼稚園に上がられるお母さん方の中にはグループもできていますが、どう思われますか。

岡田…上の子どもの時は、20名ほどのお母さん方が自然に集まって、

イベントに参加したり、キャンプに行ったりして楽しみました。松山のサークルも利用したのですが、なぜか松前町の方が安心感をもって参加できました。今は下の子どものお母さんとも輪が広がり、お弁当をここに持ってきて食べたりしています。お手洗いも安全なシステムなので、子どもにまかせています。支援センターは内容が充実しているの、自主的サークルがないのは、それが一つの要因だと思えます。

大政…利用してみて、夏は松前公園にプールがあればもっと楽しいと思います。また、福祉センターの前はスピードを出す車が多いので、横断歩道をつくれれば、より環境も充実して多くの方の利用を促せると思います。

はじめの一歩！

町長…子育て支援センターを利用したきっかけは何ですか。

渡部…保健センターの保健婦さんがこちらを丁寧に教えてくれたので来てみました。最初は友だちがいなくて抵抗があり、緊張していましたが、子どももまだ歩くのが遅くてあまり遊べなかつたのですが、